

高脂血症治療薬により横紋筋融解症を生じた一例

三浦喜子、阿部明彦、福田歴視、北島正一
由利組合総合病院泌尿器科

One case report of rhabdomyolysis by the medicine of hyperlipidemia

Yoshiko Miura, Akihiko Abe, Hisami Fukuda, Seiichi Kitajima
Department of Urology, Yuri Kumiai Hospital

<緒言>

今回、我々は高脂血症治療薬により横紋筋融解症を生じた一例を経験したので、若干の文献的考察を加え報告する。

<症例>

患者：75歳、男性

主訴：歩行困難、腰痛

既往歴：高脂血症（昭和60年よりフィブラート系高脂血症薬を内服）

腰部脊柱管狭窄症

冠動脈バイパス術施行

腹部大動脈Yグラフト置換術施行

現病歴：歩行困難、腰痛を主訴に当院内科受診。CK、血中ミオグロビンの高度上昇を認め、横紋筋融解症の疑いにて精査加療目的に入院した。

入院時検査

血算：WBC 6900/ μ l、RBC 525 \times 10⁴/ μ l、Hb 16.5g/dl、Ht 49.7%、Plt 23.6 \times 10⁴/ μ l

生化学：TP 7.5g/dl、AST 1930IU/l、ALT 740IU/l、LDH 6360IU/l、CK 101600IU/l、S-AMY 79IU/l、CRP 1.41mg/dl、BUN 47.6mg/dl、CRE 1.43mg/dl、Na 137mEq/l、K 5.1mEq/l、Cl 102mEq/l、Ca 8.8mg/dl、BS 120mg/dl、血中ミオグロビン23000ng/ml

BGA (room)：pH 7.418、pCO₂ 35.3mmHg、pO₂ 96.7mmHg、HCO₃⁻22.3mmol/l、BE-1.1mmol/l、SaO₂ 97.5%

入院後経過

入院2日目、1日尿量が200mlと低下したため、横紋筋融解症による急性腎不全の診断で当科を紹介され、血液透析（HD）を開始した。3日目K 6.49mEq/l、CK 254580IU/l、CRE 4.42mg/dlとさらに上昇したため、血液透析瀦過（CHDF）に変更した。

その後データは改善し12日目よりHDに移行した。1ヵ月後1日尿量3000ml、K 3.4mEq/dl、

CRE 2.49mg/dl、CK 188 IU/l であり、HDを終了とした(図1)。

CHDF、HDの使用機材及び条件は以下のとおりに施行した(図2)。

退院時には血中ミオグロビン 118.9ng/ml、CK 196 IU/l と改善し、中性脂肪の高値(TG 183mg/dl) に関しては食事療法にて対処することとなった。

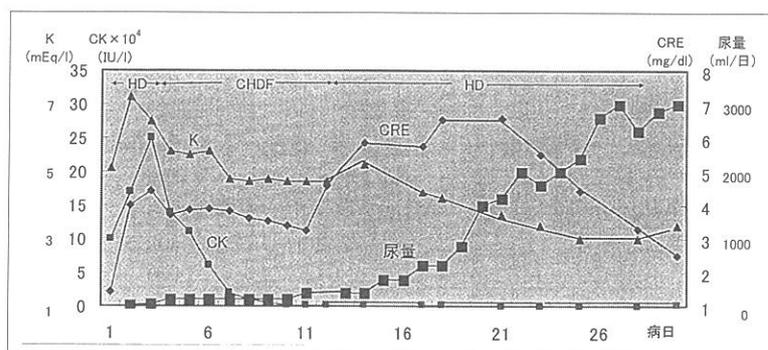


図1. 治療経過

CHDF、HD使用機材及び条件

<CHDF>

- 持続緩徐式血液濾過器
SH-1.0ヘモフィール
- 回路: U-520SY
- ブラッドアクセス
フェモラルカテーテル
- 抗凝固剤
フサン 持続30mg/hr

<HD>

- ダイアライザー
APS-15S
- ブラッドアクセス
フェモラルカテーテル
- ヘパリン
持続 1 ml/hr
- 透析時間: 3時間

図2

<考察>

横紋筋融解症は、骨格筋細胞の融解や壊死が急激に起こり、ミオグロビンなどの筋細胞成分が血中や尿中に遊出する病態で、脱力感、筋肉痛、しびれ、筋肉の腫脹、赤褐色尿などの症状が出現する。なかでも薬剤を原因とするものでは高脂血症治療薬が24%と最も多くなっている¹⁾。診断は上記症状の出現、血中ミオグロビン、CKの上昇、尿中ミオグロビンの検出など総合的に判断することで行われる。治療はGFRを確保する目的で輸液を行い、尿細管障害を軽減する目的でメイロンを投与する場合があります²⁾、重症例では透析療法が必要となる。

高脂血症治療薬(フィブレート系)の副作用として横紋筋融解症、肝機能障害、胆石形成、尿酸値の上昇などがあげられている。また腎機能が低下している症例では横紋筋融解症が発症しやすいため、CREが2.5mg/dlを超える症例では投与が禁忌とされており、特にHMG-CoA還元酵素阻害剤との併用は原則禁忌とされている³⁾。

<結語>

高脂血症治療薬が原因と考えられた横紋筋融解症の一例を経験した。高脂血症治療薬を内服している場合にはAST、ALT、LDH、CK、CREなど定期的な血液検査が必要である。また脱力感、筋肉痛、しびれ、筋の腫脹など横紋筋融解症を疑う症状出現時には、内服薬の確認をすることが重要である。

<参考文献>

- 1) 原西保典、又吉康俊、吉富 郁、中村久美子、岡 英男、田村 尚：本邦における非外傷性横紋筋融解症例の文献的検討、ICUとCCU28：929-933、2004
- 2) 椿原美治：横紋筋融解症による急性腎不全、腎と透析49：563-566、2000
- 3) 辻 昌宏：フィブラート系薬剤（ベザトールSR、リパンチル）、Medicina39：200-202、2002